

ドン・ボスコ生誕200周年ニュース

1815 2015 BICENTENARY OF BIRTH NEWS



No.38／2015年11月30日／ドン・ボスコ生誕200周年実行委員会発行

サレジオ家族の皆さん

今回は、11月23日に東京カテドラル閣口教会で開催された「**ドン・ボスコ生誕200周年閉幕イベント&ミサ**」の様子をお伝えします。当日は1500名以上の「ドン・ボスコの仲間たち」が集い、サレジオ家族の交わりを喜び、若者たちの目覚ましい活躍に大きな希望を確信する素晴らしい集いとなりました。多くの皆様がご協力・ご寄付・お祈りによって支えてくださいましたこと、心より御礼申し上げます。それでは報告記事をお楽しみください！

ドン・ボスコの夢は続く.....若者と共に 若者のために

ドン・ボスコ生誕200周年閉幕イベント&ミサ @東京カテドラル閣口教会

ドン・ボスコの生誕200周年閉幕を祝うイベントとミサが11月23日、東京カテドラル閣口教会で行われました。日本各地から学校生徒や青年グループをはじめ、信徒や教会学校の子どもたち、サレジオ会、サレジアン・シスターズ、イエスのカリタス修道女会、サレジアニ・コオペラトーリ、ADMA 扶助者聖マリアの会、VDB ドン・ボスコ女子在俗会、扶助者聖母会同窓会連合（ユニオーネ）、サレジオ同窓会連合などサレジオ家族とドン・ボスコを知る1500人以上が集まりました。

時折冷たい霧雨に見舞われながらも屋内外に人があふれ、各団体が温かい食べ物を提供し、同窓会コーナーでの懇親や売店などお祭りムードに包まれました。小聖堂にはドン・ボスコが熱心に勧めた告解場も設けられ、多くの人が足を運びました。

サレジオ家族では、創立者の生誕200周年に向けて4年前から、その生涯・教育・靈性を学び、若者と共に、若者のために生きる決意を新たにしてきました。

閉幕のこの日は、若者たちが1日を通して目覚ましい活躍を見せてくれました。子どもたちのために青年や神学生・志願生たちがレクリエーションやぬり絵コーナーで楽しませ、星美学園短期大学の学生は紙芝居を披露。目黒星美学園高等学校の生徒による管弦楽演奏や、VIDES（国際ボランティアグループ）青年による演劇、村松泰隆神父によるマジックショーに歓声がわきました。

シンポジウム「SYM 青年の主張！」では、今年8月に行われたSYM（サレジオ青年運動）イタリア巡礼に参加した青年たちがその体験を報告し、SYM JAPANのスタートを力強く宣言。続いて、サレジオの青年活動の中から、小教区青年、望洋庵、ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ、VIDESの青年たちによるシンポジウムが開催されました。共にいること（アッシステムツア）、温かさ、一人ひとりへの近さ、エネルギーな若さが、互いに共通するドン・ボスコの精神であることを確認し、今後の夢と使命について語りました。

閉幕ミサは、東京教区の岡田武夫大司教が主司式、駐日教皇大使のジョセフ・チェノットウ大司教、サレジオ会東アジア・オセアニア地域顧問のヴァツラフ・クレメンテ神父ほか司祭約40人が共同司式。星美学園中学校・高等学校のダンス部・吹奏楽部・聖歌隊、目黒星美学園中学校・高等学校の合唱部、サレジオ中学校のハンドベル、イエスのカリタス修道女会のスマールクワイアによる美しく若さあふれる音楽とダンスが捧げられ、200周年の祝いのシンボルである「ひまわり」や旗が奉納されました。

サレジオ会日本管区長の山野内倫昭神父は説教で、2011年のドン・ボスコ聖遺物日本巡礼から始まった生誕200周年に向けた歩みを振り返りながら、神と出会い、神の証人となつたことこそが、貧しい青少年のために自らをささげたドン・ボスコの魂の根本にあると強調し、若者と共に歩む決意を新たにするよう呼びかけました。



受付チーム。パンフレットと記念の缶バッジ、ドン・ボスコの飲料水が配されました。



ドン・ボスコくんと記念撮影！



顔出しパネルで記念撮影コーナーも。星美学園短大生の皆さん的作品です。



教会有志やサレジオ家族が食事を提供。



寒い日でしたが、できたての温かい料理と皆さんの笑顔でポカポカです。



焼肉のいい匂いに食欲がわきます！



ドン・ボスコ市場では各グループが物品やDBグッズを販売して大賑わい。



シスターも、思いっきりはしゃぎましょう！



星美学園短大生の皆さんによる、ドン・ボスコの紙芝居。



目黒星美学園高校の管弦楽部の皆さんによるミニコンサート。



VIDES青年有志の皆さんによる劇「さあ行こう！ドン・ボスコとともに」



皆さんステージに釘付け。



Fr.Mickeyのゴスペル・マジックショー。



大変な盛り上がりようです。



ぬり絵コーナー。ドン・ボスコくんとグリーボ。



子どもたちもたくさん来てくれました！



子どもたちの笑顔のためなら！



レクリエーションは、青年OGOBや四日市志願院の皆さんが盛り上げています。



SYM サレジオ青年たちのトークが熱い！



青年の主張に耳を傾ける大人たちも熱い！会場は超満員。



SYM JAPANがスタートしました！



「若者にこそ、夢・希望・救いがあるのです。」



閉幕ミサに先立ってサレジオ家族紹介。



星美学園中高ダンス部の皆さん。



星美 & 目黒星美の合同聖歌隊。



カリタス会スモールクワイア。



大聖堂に響く天使の歌声！



サレジオ中学校のハンドベル演奏。



1500人以上の感謝と賛美の祈り…



旗や記念シンボル「ひまわり」も奉納。



ドン・ボスコの言葉を胸に刻んで共同祈願。



東アジア・オセアニア地域顧問のクレメンテ神父。ひまわりムーブメントに感激。



宮崎の日向学院の皆さん
も参加してくれました！

★11/23 DB200閉幕イベント&ミサの写真は
下記リンクからダウンロードできます。(Googleフォト)

<https://goo.gl/photos/3HktYvXC3XP6sfha6>

<https://goo.gl/photos/Aye8MbXVBvJTeBDKA>



アンケートご協力のお願い

ドン・ボスコ生誕 200 周年閉幕、そして新しい出発へ！

サレジオ家族では、ドン・ボスコ生誕 200 周年に向けて 4 年前から、その生涯・教育・靈性を学び、若者と共に、若者のために生きる決意を新たにしてきました。

この準備の 4 年間の歩みをふりかえると、いろいろな気づき・出会い・チャレンジ・困難・成長があったことだと思います。

そして、これから的新しい出発に向けて、目標・夢・希望・課題・決意を新たにしたことでしょう。

下記 2 つの短い質問に答えて、皆さんの思いを共有していただければ幸いです。

E メールまたは FAX で、12 月 15 日（火）までにお送りください。

Q1. ドン・ボスコ生誕 200 周年の記念をとおして、あなたにとってどのような実りがありましたか？

Q2. ドン・ボスコの仲間として、あなたの夢と決意をお聞かせください。

記入者 所属（修道会・グループ・事業所・学校・教会名など）

年代 10 代・20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代以上 (いずれかに○)

【送り先】ドン・ボスコ生誕 200 周年実行委員会事務局（サレジオ会管区長館内）立石

Email: koho@salesians.jp Tel. 080-7897-7410 Fax. 03-3353-7190